

【玄関は「良い運気の風」を入れる場所】



厳密に言えば、玄関とは、家の出入り口にある空間を指します。外と家の仕切りになる場所なので、外に置きたくないモノの「とりあえず」の置き場になりやすい場所です。

そこで、モノはできるだけ厳選して置くようにします。靴や傘が整理をしても数多くある場合は「使用頻度の少ないモノを他に移動する」、スポーツ用品や子どもの遊び道具を置きたい場合には、「見せ方や清潔感を意識した置き方をする」などの工夫ができるとスッキリ見えます。

また、玄関は、内から外へ出ていく場所でもありますから、スムーズに気持ちよく出かけられる様に、汚れを溜めない、好きな香りで消臭をするなどの配慮も必要です。

靴の整理と収納



靴の整理を効率よく進めるためには、全部出しをします。

まず、「履いている靴、履く予定のある靴」と「履いていない靴」に分けます。

履かない靴に関しては、「なぜ履かないのか？」その理由をはっきりさせます。

理由が靴の傷み具合ならば、修理か処分を検討します。

履くと疲れる、痛いなど身体への負担ならば、処分します。今の自分に合う靴を購入した時のスペースを確保する、など先のことを優先してみると処分への後押しになります。

収納のコツは、よく履く靴を取り出しやすい位置に入れることです。戻す手間も少なく玄関の散らかりを防げます。

家族の靴の定位置決めは、それぞれの身長も加味してざっくりとエリアで分けておくと迷子の靴が出ません。

小物の整理と収納



「靴」「傘」以外に玄関にあると便利なモノは、何を置いておくかを選んで決めておきます。

何となく玄関に置き放しのモノを作らないためです。

玄関にあると便利なモノは、細かいモノが多いので、目的や使う人別に分けてケースなどにそれぞれにまとめて収納しておきます。

ケースにラベリングをすると、使ったあと、家族が自分で戻す時の時間にも無駄がありません。

また、鍵やネームプレートなど掛けられるモノは、下駄箱の扉の裏側にフックをつけてかける収納にすると「見える化」になり、探しモノが減ります。

たたきに何足も靴が置かれてしまう場合は、ラックなどを利用して縦に整える工夫をするとすっきり見えます。